

交流施設を設置し、障がい者の活動の場、観光客との交流の場として活用

(社福)フォーレスト八尾会、八尾町商工会

機関名	(社福)フォーレスト八尾会、八尾町商工会			
所在地	富山県富山市八尾町黒田 53-3			
電話番号	076-454-2117			
地域概要	(1)管内人口 八尾地域 22千人	(2)管内商店街数	4商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数	1商店街	(2)会員数	55商店
	(3)空店舗率	5.5%	(4)大型店空き店舗数	0
	上新町商工振興協同組合			
商店街の類型	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街			

【事業名と実施年度】

平成16年度 コミュニティ施設活用事業（複合施設）

・交流サロン「工房風のたより」設置、運営事業

総事業費

1,604千円

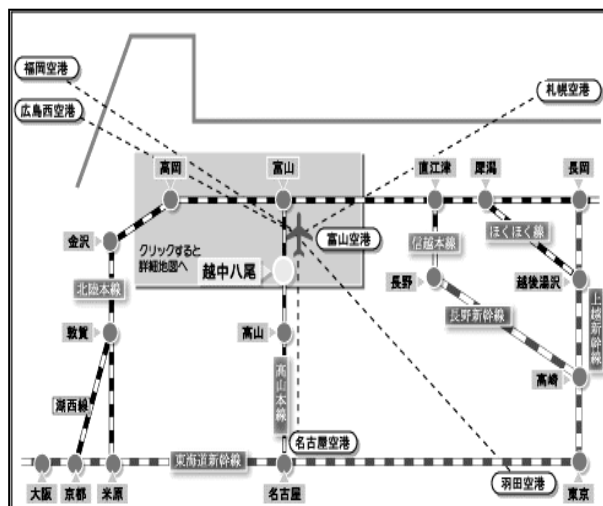
【事業実施内容】

1. 背景

八尾町は、平成17年4月より富山市、大沢野町、大山町、八尾町、婦中町、山田村、細入村の1市4町2村が合併し新たに「富山市」となった。富山市の人口は約41万9千人、うち八尾町の人口は約2万2千人である。

八尾町地域は、富山県の中南部にあり岐阜県に接する。総面積236.86k㎡の約8割が山地となっている。門前町として成立し、藩政時代から地場産の蚕種や和紙の取引を中心に商人町として栄えてきた。特に中心地は江戸時代に富山藩の御納所であり、曳山祭りや、おわら風の盆等の文化、伝統を育み、各種機能が集積する地方都市の「顔」であった。しかし近年、住居・商業施設等の郊外移転により空洞化が進み、商業者及び地域住民の生活の維持や文化の伝承等は危機的状況にある。

そこで平成15年度より、中心市街地の核となる上新町商店街内の空き店舗を活用して、コミュニティ施設「工房風のたより」を設置し、活力ある中心市街地の再生に取り組んだ。オープンは平成16年3月21日であり本格的な活用事業は平成16年度からである。



旧八尾町の位置（八尾町 HP より）

2. 事業内容

上新町商店街の中程に設置した、コミュニティ施設「工房風のたより」(約 80 m²、平成 16 年 3 月 21 日オープン) を地元障がい者の活動拠点や観光客が気軽に立ち寄れる交流拠点として、幅広い層に活用してもらうことで、賑わいの再生を図るものである。

具体的には、障がい者が製作した土産品の販売、体験教室、来街者の休憩の場として施設を活用したほか、地元商店街のイベントへ参加し土産品の販売等を行った。

(1) 観光土産品の販売及び、製作体験教室

障がい者の方が活躍する授産施設として活用するとともに、観光客との交流拠点とした。工房には、職員 1 名と障がい者の方 9 名の常時 10 名が常駐した。

工房において、切り絵うちわ、紙風船、マスコット、しおり、おわら刺子等の八尾の土産品を、障がい者の方が中心となって製作、販売した。

また、訪れた観光客等が参加できる土産品の「製作体験教室」を随時開催した。紙風船など 30 分程度で出来上がるもので、参加費は 350 円程度(作品によって多少金額が変わる)とした。

(2) 商店街や八尾町のイベントへの参加

工房内だけでなく、商店街や八尾町でイベントが実施される際には、工房の前に出店を開いて土産品の販売を行う等、積極的に参画し、賑わいの創出に努めた。

具体的には、上新町商店街で月 1 回第 2 土曜日に開催される定期市「なりひら風の市」や、八尾町のイベント「おわら風の盆」、「月見のおわら」、「坂のまちアート in やつお」、「手のしごと市」である。

(社福) フォーレスト八尾会、八尾町商工会

「工房風のたより利用実績」(平成16年4月～平成17年3月)

月	来場者数(人)	体験教室参加数(人)	八尾町及び上新町商店街のイベント
4月	124		風の盆ステージ(10日、24日)
5月	632	紙風船 10 刺し子 1	風の盆ステージ(8日、22日) 曳山祭(3日) なりひら風の市(8日)
6月	276	紙風船 38 しおり 3 刺し子 4	風の盆ステージ(12日、26日) なりひら風の市(12日)
7月	181		風の盆ステージ(10日、24日) なりひら風の市(10日)
8月	3,089	紙風船 22	風の盆ステージ(14日、28日) なりひら風の市(7日) おわら風の盆前夜祭(20～30日)
9月	4,250		おわら風の盆(1～3日)* 風の盆ステージ(11日、25日) なりひら風の市(11日)
10月	1,780		風の盆ステージ(9日、23日) 坂のまちアート(8～11日) なりひら風の市(9日)
11月	1,250		風の盆ステージ(13日、27日) なりひら風の市(13日) 手のしごと市(13～14日)
12月	210		風の盆ステージ(8日、22日)
翌1月	53		風の盆ステージ(11日、25日)
2月	112		風の盆ステージ(12日、26日) 民謡セッション(6日、13日、27日)
3月	70		風の盆ステージ(12日、26日)
合計	12,027	78	

*「おわら風の盆」3日間に訪れる観光客数は約25万人

【 効 果 】

1. 商店街の認知度

工房が地元富山県の新聞、雑誌、テレビなど様々なメディアに取り上げられた。「上新町商店街にある“工房風のたより”」として掲載されることで、商店街名の知名度が上がった。まず、どこにあるのかを認知してもらうことを優先させ、賑わいの創出へとつなげた。

2. 町民のまちづくり意識の高揚

商店街に「工房風のたより」が設置され、多くのメディアに載り話題となったことで、町民レベルのまちづくり会議の開催や、新たな町民団体が発足するなど、まちづくりへの関心が高まってきた。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

課題に関しては、平成 15 年度事業後に挙げられたことが解消されず、平成 16 年度も同様に課題として残った。

1. 事業の合意形成

“福祉施設とまちづくり” や、“福祉施設と商店街” が結びつくことの意義が、まだまだ商店主に理解されておらず、お互いに努力する必要がある。

2. 人的体制

障がい者が働く場としての機能を持っている工房のため、一度に多くの観光客が訪れた場合、迅速に対応できないことがある。そのため、マンパワーの体制を早く整えたい。

3. 事業費の確保

補助終了後の 4 年目以降の自立化に向けて、事業費確保のための活発な活動計画を策定し、実施しなければならない。

具体的に検討しているのは、新たな地域の特産品の開発、イベントの積極的な企画等である。

【 関 連 U R L 】

(社福) フォーレスト八尾会	http://www.cty8.com/forest/index.html
八尾町商工会	http://www.yatsuo.net/index.html
上新町商工振興協同組合	http://www.cty8.com/narihira/